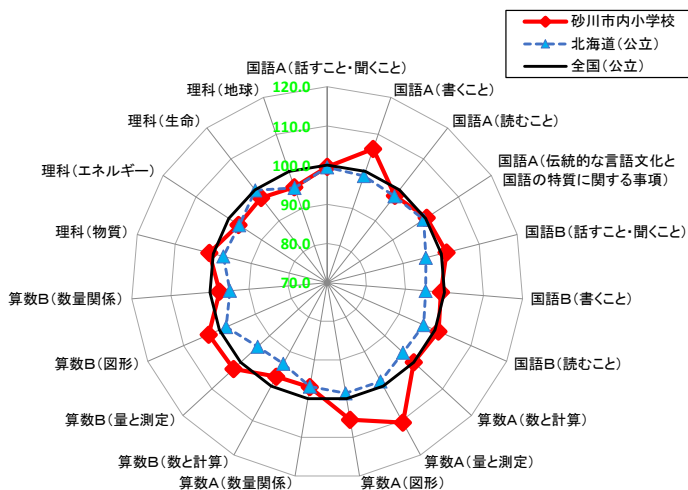


■ 砂川市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 5校、児童数: 115人)

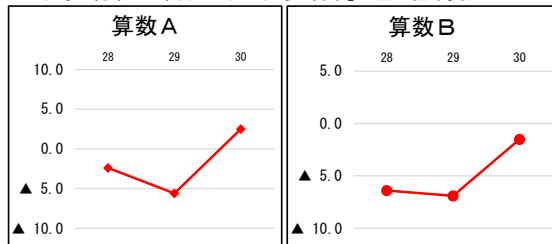
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

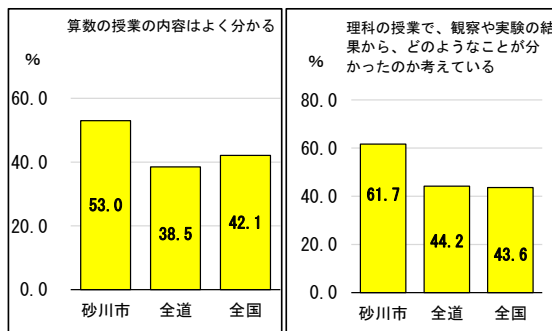


【平均正答率の全国との差の推移】

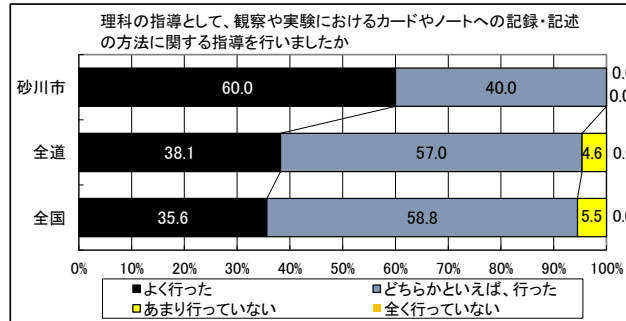
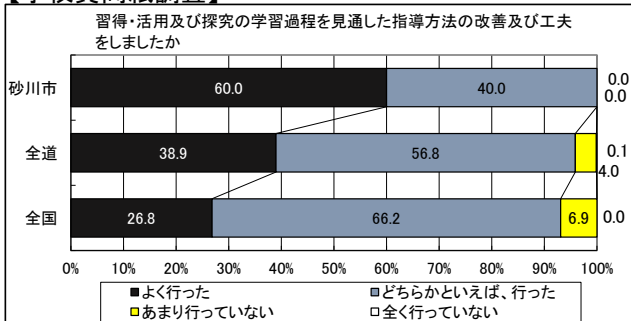
※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数A・Bでは、「量と測定」「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った結果、日常の授業改善が図られ、算数の授業の内容がよく分かる児童の割合が増え、算数A・Bの「量と測定」「図形」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の指導として、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行った結果、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の指導として、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【砂川市の学力向上策】

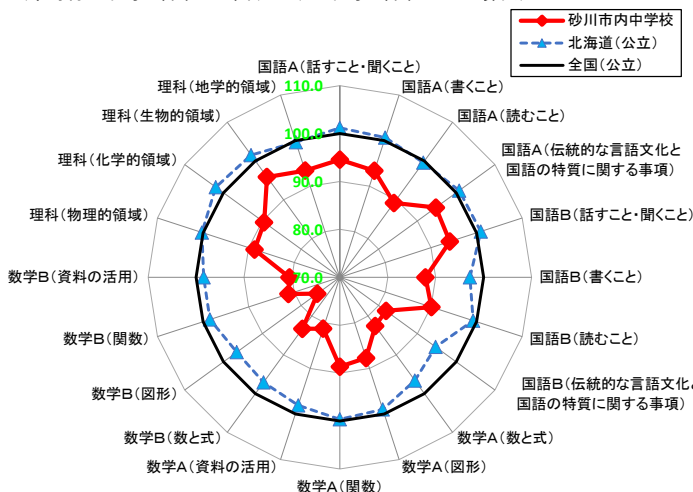
- ◎ 教育内容や指導方法に即した教材・教具の整備
- ◎ 小学校における外国語活動に対応するため、外国語指導助手の増員
- ◎ 望ましい読書習慣の確立に資する学校図書館の整備
- ◎ 実物投影機やタブレット端末等のICT機器の活用
- ◎ 学習塾と連携した小学4、5、6年生対象の放課後学習サポート事業の実施
- ◎ 個別の指導計画と教育支援計画を活用し、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援体制の充実
- ◎ 「考え、議論する」道徳授業づくりを含めた道徳教育の質的改善を図る校内研修の推進

■砂川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:129人)

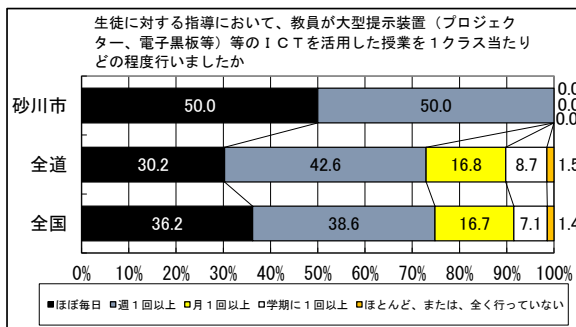
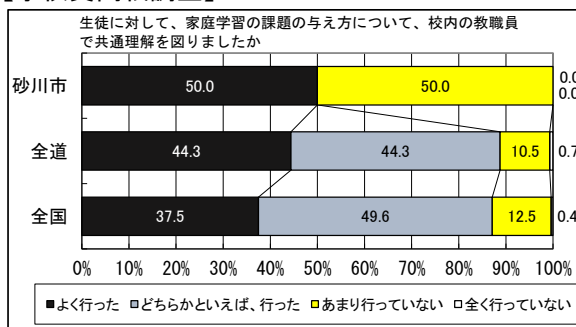
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

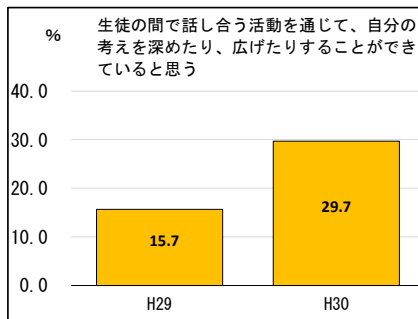
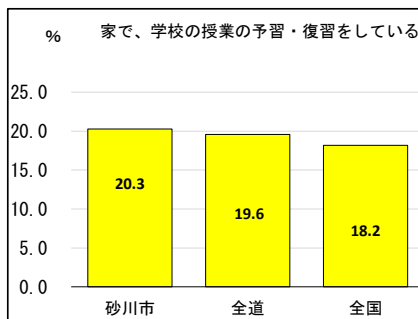
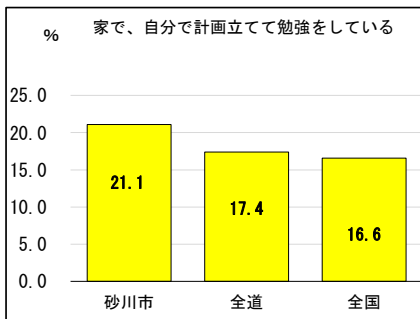
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生物的領域」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った結果、自分で計画立てて学校の授業の予習・復習をしている生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、前年度と比較して増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実物投影機などのICTを活用した授業を行った結果、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする生徒の割合が前年度と比較して増えたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒に対して、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「生徒に対する指導において、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業をほぼ毎日行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

【砂川市の学力向上策】

- ◎ 教育内容や指導方法に即した教材・教具の整備
- ◎ 望ましい読書習慣の確立に資する学校図書館の整備
- ◎ 実物投影機やタブレット端末等のICT機器の活用
- ◎ 個別の指導計画と教育支援計画を活用し、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援体制の充実
- ◎ 「考え、議論する」道徳授業づくりを含めた道徳教育の質的改善を図る校内研修の推進